

試験科目名
デザイン・アート実践論

（5枚中1枚目）

- [1] 次の文章1～3はポール・ホーケンの著書『ドローダウンー地球温暖化を逆転させる100の方法』より抜粋したものです。
文章を読んで、(1)～(3)の設問に答えなさい。 (100点)

文章1

引用出典：ポール・ホーケン編著（江守正多監訳，東出顕子訳）『ドローダウンー地球温暖化を逆転させる100の方法』山と溪谷社，2022，pp.50-53

[1] - (1)

原子力発電については賛否両論ありますが、上記の文章からはポール・ホーケンの原子力発電に対する特定の意見が読みとれます。それについて述べるとともに、あなた自身の意見とその理由について具体例をあげながら300字程度で述べなさい。

試験科目名
デザイン・アート実践論

（5枚中2枚目）

文章2

試験科目名
デザイン・アート実践論

（5枚中3枚目）

（後略）

引用出典：ポール・ホーケン編著（江守正多監訳，東出顕子訳）『ドローダウンー地球温暖化を逆転させる100の方法』山と溪谷社，2022，pp.154-155

[1] - (2)

地球温暖化への対策のひとつとして考えられている「人口」や「家族計画」については、賛否両論あると言われています。このような課題に対して、社会の意識を変え、「性と生殖に関する健康」をデザインするために、どのようなメディアをどのように利用すればよいと思うか、具体例をあげながら300字程度で論じなさい。

文章3

試験科目名
デザイン・アート実践論

（5枚中4枚目）

試 験 科 目 名 デザイン・アート実践論

(5枚中5枚目)

[1] - (3)

生物学的共生は、相利共生（双方が利益を得る共生）、片利共生（片方のみが利益を得る共生）、中立（双方が利益を得ず、害も被らない共生）、寄生（片方のみが利益を得、片方が害を被る共生）、片害共生（片方のみが害を被る共生）、競争（双方が害を被る共生）の6つに分類されると言われています。このことと、本文をふまえ、新たな未来の農業に関するデザインについて、300字程度で論述しなさい。

[2] 下記のデザイン・アート実践に関する16個のキーワードから5つを選択し、それぞれの解説を所定の解答欄に300字程度で記述しなさい。解答紙には必ず選択したキーワードの番号を記入すること。なお、解答順は番号順になっていなくてもよい。

(100点)

(1)	(2)	(3)	(4)
ビジネスデザインとサービスデザイン	エンビジョン（妄想）デザインとビジョンデザイン	世界大戦間期のデザイン	観察と分析
(5)	(6)	(7)	(8)
ダイバーシティーとインクルージョン	ポストコロニアリズム	トランスカルチュラル	プロパガンダ
(9)	(10)	(11)	(12)
ホワイトキューブ	グローバルアート	ミニマリズム	アースワーク (ランド・アート)
(13)	(14)	(15)	(16)
もの派	反芸術	アートにおける市場原理主義	NFT (Non-Fungible Token) アート